

勸学文（朱熹）

謂^いう 勿^{なか}れ 今日^{こんにち} 学^{まな}ばずして 来^{らい}日^{じつ}ありと

謂^いう 勿^{なか}れ 今年^{こんねん} 学^{まな}ばずして 来^{らい}年^{ねん}ありと

日^{じつ}月^{げつ} 逝^ゆきぬ 歳^{とし} 我^{われ}と 延^のびず

嗚^あ呼^あ 老^おいたり 是^これ 誰^{たれ}の 愆^{あやま}ちぞや

勿^い謂^い 今日不^ふ學^{がく}而有^り來^き日^{じつ}
勿^い謂^い 今年不^ふ學^{がく}而有^り來^き年^{ねん}
日^{じつ}月^{げつ}逝^ゆ矣^い歳^{さい}不^ふ我^{われ}延^の
嗚^あ呼^あ老^{らう}矣^い是^ぜ誰^{たれ}之^の愆^{あやま}

解説 発憤、努力を勧める詩。

語釈 ※勿謂今日不學而有來日〓今、学ぼうとしないで、翌日があるとは謂うな。 ※勿謂今年不學而有來年〓今年、学ぼうとしないで、来年があるとは謂うな。

※日月逝矣歳不我延〓月日が過ぎていったが、歳月は延ばしてはもらえない。 ※嗚呼老矣是誰之愆〓ああ、歳をとってしまった。誰の過ちであろうか（自分が時間を無駄に使ったのだろうか。）

通釈 今日現在、学ぼうとしないで、明日があるとは謂うな。今年、学ぼうとしないで、来年があるとは謂うな。年月が過ぎていったが、歳月は延ばしてはもらえない。ああ、歳をとってしまったなあ、これはいったい誰が時間を誤ったのだろう。